

平成21年度一般会計 当初予算案に対する

反対討論

柿崎直治

平成21年度一般会計当初予算
に対して反対の討論をいたしま
す。

町長は平成20年度3月の議会
での施政方針で、平成21年度は
固定資産の評価替えの影響で更
に大幅な税収の減が見込まれ、
徹底した合理化や効率化を進め
将来を見据えた行政運営を行っ
てゆかなければならないと述べ
ていた。しかし平成21年度の予
算案ではまったくその方針が示
されていない。そればかりか、
一般会計では私の記憶では初め
ての2億9千万円余の町債を発
行して予算を組んでいる。

町債は長期の融通手形(借金)
のようなもので義務的経費であ
り、毎年元利償還の義務が生じ
ることから、どう考えても健全
な財源とはいえない。町債は後
年度に債務を残すことから、町

財政の弾力性を阻害しかねない
性質を含み、更には後々町民に
負担を強いることも考えられる。

このように借金をしなければ予
算編成ができなかったのは、町
長の行財政運営が間違っていた
からであり、町債財源を含んだ
平成21年度一般会計予算編成に
は賛成できかねる。独立独歩を
目指す湯沢町が、今早急に取り
組まなければならぬ財政改革
の大きな命題は、保育所、小学
校の統合であると私は確信して
いる。町長には、政治(行政)
は人民の、人民による、人民の
ための政治であると唱えた第16
代アメリカ合衆国大統領エイブ
raham・リンカーンの言葉を肝
に銘じ、健全な行財政運営に邁
進されんことを強く望み、期待
して、私の反対討論といたしま
す。

平成21年度国民健康保険 特別会計予算案に対する

反対討論

柿崎直治

平成21年度国民健康保険特別
会計予算審査で、今年度は町民
一人当たり約1万5千円程の保
険税の値上げ案が示された。

町観光課の報告では2月まで
の町内各スキー場の入込み客数
は前年比92・2%、3月に入っ
ても暖冬少雪の影響や経済不況
による個人消費の落ち込みでか
なりの入込み減が予想されると
ころである。このような状況下
で保険税の値上げを見込み、予
算を編成した町長の方針には大
いに疑問を感じる。平成21年度
の国保会計予算案では、一般会
計からの繰入金は前年比1千7
64万円の減、昨年2千410
万円ほどあった基金繰入金は0、
総額では前年比約3千万円の減
となっている。この減の部分を
保険料の値上げで対応しようと
していることは間違いない。な

ぜ基金から繰入をしなかったの
か。なぜ一般会計繰入金を減に
したのか。この時世にいつきに
1万5千円もの保険料の値上げ
は、町民の財産と健康を守る地
方自治本来の目的が失われ、町
民からは大きな批判と不信の声
が上がってくることは論を持た
ない。不況の嵐カゼを直接身に
受けているのは町民である。こ
ういう時こそ、町民の暮らしを
守る砦である行政があらゆる手
段を講じて、町民の負担軽減を
図る姿勢を明確に示し、それを
国保税に限らず自治体行政施策
全体の中に貫くことが首長の責
務である。基金繰入もせず、一
般会計繰入も減として、その不
足分を国保税の値上げとして町
民に押し付けるこの平成21年度
国民健康保険特別会計予算案に
は断固反対する。